

会 議 録

会議の名称	中野市立小学校及び中学校適正規模等基本方針（案）修正案に伴う市民説明会
日時	平成 28 年 6 月 18 日(土) 午前 10 時 00 分～午前 11 時 30 分
会場	中野市立高丘小学校体育館
出席者等	<ul style="list-style-type: none">・参加者 23 人・教育委員会出席者 7 人 教育委員長、委員長職務代理者 教育次長、学校教育係長、事務局 3 名・報道機関 なし
次第	<ol style="list-style-type: none">1 開会2 あいさつ3 基本方針（案）修正案について4 質疑5 閉会
その他	添付資料：基本方針（案）修正案 北部地区小学校統合計画敷地配置図（案）、通学距離 発言内容は別紙のとおり

(別紙)

中野市立小学校及び中学校適正規模等基本方針（案）に係る市民説明会

日時 平成 28 年 6 月 18 日（土）

午前 10 時 00 分～午前 11 時 30 分

会場 中野市立高丘小学校体育館

1 開会（AM10:00）

・進行：教育次長

2 あいさつ

・教育委員長あいさつ

3 基本方針（案）について

・教育次長から資料の説明

4 質疑

意見

- 長島教育委員長さんをはじめとする教育委員の皆さん教育委員会事務局の皆さま方には中野市の児童生徒の教育環境の整備充実質の向上等々に日や行動力を賜り、心から御礼申し上げます。中野市の適正規模基本方針案修正案につきましてご説明をいただいたわけですが、御礼と一つのお願いを申し上げさせていただきます。
- 最初に、只今ご説明で高丘小学校と平野小学校との統合を先送りするというふうに修正案をご説明いただいたわけですが、このことにつきましては牛出区の総会の決議や私ども高丘小学校の存続発展を願う会、高丘小学校や高丘保育園の保護者の皆様方の要望に沿うことであり、心から御礼を申し上げる次第でございます。
- 続きましてお願いですが、教育委員長さんをはじめ教育委員会事務局の皆様方には、今後は、池田市長さんをはじめ行政関係部局も皆様方とも連携を一層蜜にさせていただき、若い皆様方が一極集中の東京都や過密に悩む市町村からどんと中野市に移り住んでいただけるような住みよい中野市の建設、このためには国や県でも地方創成各種事業を始めとするさまざまな施策があると思いますので行政担当部局の皆さんと連携をとっていただき、それらを積極的に実施するようにして欲しいです。ただ住んで人数が増えただけでは困るので、若い皆様方が安心して大勢の子どもさんを産み育てられるような住みよい中野市の建設整備に向けて、なお一層のご尽力を賜りたいとお願い申し上げます。高丘小学校につきましては、各学年で児童数がどんと増えて未来永劫に高丘小学校が存続することができるように、さまざまな施策充実、実施についてなお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げる次第でございます。

回答

- 今回の件はお願いという形で捉えさせていただき、市長部局の方とも連携していきたいと思えます。

意見

- 「2ページ(2)③学級数及び1学級あたりの児童生徒数は、当面長野県の学級編成基準の30人規模学級とする」の一文の30人なのですが、30人を前後する理由は説明いただいているので承知しているのですが、そのほかにも20何人が適切だとか他の資料で出てきているかと思えます。前回意見をされた中にもありましたが、WHOからの基準でそれにみえたんですけども、ここにわざわざ30人という数字をあえて残している理由をお聞きかせいただきたい。

回答

- 基準はやはりはっきりする必要があります。例えば25人学級、20人学級と色々ありますが、あくまでも中野市の教育委員会といたしましては県の基準に沿って30人規模という形で進めたいということで、ここに載せてございます。そうしないと意見の中で一クラス20人でもいいのか、50人でもいいのかと色々な意見がありますので、30人規模で一クラスという考えでいますので、あえて載せています。

意見

- そこを前提としての話ですが、将来的にこちらの地区の検討を行うと言っている部分に対して、逆に数字的な部分が曖昧になっているのですけれど、30人をきる状態に全学年がなった場合、具体的な何かをお持ちでしょうか。方針のようなものを協議会のようなもので話し合われたのでしょうか。

回答

- 平成28年の5月1日の高丘小の児童数は30人前後のクラスが多いのですが、将来学校運営の制約を受けるという部分ですが、教員の配置・専科の先生の配置、他の北部地区の小学校でも出てきております音楽会・集団授業・集団行動・男女比の問題そういったところを色々見極めたうえで検討したい。南宮中学校区の日野小と延徳小は全学年単級ですが、日野小がひと桁の学年というふうに言いきってますが、こちらはそういう表現ではなく、当面は学校運営で制約を受けるという状況になってきた段階で改めて検討したいということで、はっきりと20人とか15人になったりとか今の段階では何人になったらどうか言えませんが、もし皆さんから音楽会・集団授業・集団活動が厳しくなってきたという場合に検討していこうと捉えております。

意見

- そうしますと再検討を開始する時には、こちらの地区の親の意見をくみ上げる形で、例えば地区の区長会から上がってきた場合というふうに理解すればよろしいでしょうか。それとも何か他の事を想定されているのでしょうか。

回答

- 区長会を通すかどうか今ははっきり言えませんが、地区の皆さん保護者の皆さん直接授業を行っていただいている先生方、校長先生等でこういった問題が出てきている、子ども達にとって授業等に支障がある、そういったような声が聞こえ始めてきた時、その後の情勢、中学校や小学校の教育環境が変わってきた時点で検討したいと考えています。具体的にはどのように吸い上げるとかどのような声を聞くというのは今の時点でははっきりと定まっておりますが、毎月定例的に校長会等の会議をやっておりますので、その中で色々と声を拾っていきたいと考えています。

意見

- 先生方の意見というお話でしたが、先生方は学校に執着はお持ちでないと思っています。普通の民間会社でいけばこういう地区の学校というのは営業所でしかないはずで、お勤めいただいている先生方がずっとこちらに残って色々心配されるなら分かりますが、4・5・6年ぐらいで動かれてしまう方の意見で左右をしていただきたくない。何でそんな意見を言うかという、私の上の息子が今高校3年ですけど、その時の担任の先生というのは、自分の親に言われて先生になったと明言された方として、子どもは嫌いですと言っていました。そんな方を採用するような長野県教育委員会の方針というのは良く分からない。30人というのを持ち帰ると、班で4～6人、6人で構成しますと5班、もう少し下の24人では少ないかもしれませんが、28人とか30人ときらないでいただきたいというのがありまして、20人では少ないでしょうし25人から30人と大筋のところクラス編成をしていただきたいというのがあります。
- うちの学校を残すために私どもの地区の子どもの数が増えればいいのはもちろんですが、これは個人的な話でしょうし、雇用面の話というのは行政さんで、いろいろ各事業所さんをこちらの方に引っ張っていただくような方針、これは私が去年の段階で中野市の総合計画が発表される前に西部公民館で市長さんとか皆さんが来た時にお話ししたんですけども、早く市街化調整区域をはずしていただきたい。要は市街化調整区域というふうに人口が少なくてもいいということを未だやっているそういうところが問題でして、中野市全体の人を増やすのであれば色々なそういうのをはずしていただいて、自由活発に民間の力を利用して人が増える方向に持って行っていただきたい、そのうえで初めて子育てだとか結婚云々の話なので、総合戦略の順番が間違っているんじゃないですかと最初の9月にも言ったのですが、まず雇用云々のところで、皆さん教育の方の立場だけでこちらにいらっしゃっているんですけども、行政の方への申し送りを改めて伝えていただきたいなと思っております。

- 先程の再検討を行うというのがあった段階はもう統合するのが是ということなんですか、そこだけ最後に教えてください。統合の話とかが学校の先生とか地区からありましたと誰かが判断するっていうのがあった時には統合は是として進めるということなんですか。

回答

- 統合の関係につきまして意見があったからといって、じゃあすぐ統合ということは考えておりません。先程30人規模という話が出ましたが、基本方針を作る前の審議会の中で、2年ほどかけて審議委員さんが調査なりアンケートを取った中では、やはり20から25人ぐらいのクラスがよいとの意見でございました。ではそれでやればいいんじゃないかという意見もあるのですが、長野県の基準を外してしまうと、前も話をさせていただきましたが、教員の配置が市独自で配置したり独自で探すというのが非常に難しいということで、先生方の配置とかあるいは色々な条件を考えた時に30人というのは崩さないでということになっております。長野県の中でも村へ行きますと、20人学級とかで独自にやっているところもございしますが、市レベルになりますと、県の基準を崩さないで県の配置に基づいて行いたいというのがございます。雇用創出とか農振とか色々出しましたが、それにつきましては意見があったことは十分伝えていきたいと思っております。

意見

- 今日はこのような日時、時間帯に説明会を開いてくださりありがとうございます。小さな子ども達がいると夜の時間帯というのは難しいので、今日参加することができてありがたいと思っております。高丘小学校の統合が先送りになったということでひとまず息子達は高丘小学校を卒業できるんだなと嬉しく思っているのですが、とはいってもいつかはそうなるかなという不安な思いもあります。30人学級の話が出たんですけれども、教育委員の皆様をお願いといいますか私の考えを聞いていただきたいと思っております。現在長野県では35人30人学級が適正規模だと掲げられていますが、私はもっと少なくてもいいと思っています、少人数であればそれだけ一人一人に目が行き届きますし勉強面においても色々な問題においてもすぐ対応しやすい面を考えているからです。この言葉は実際に先生をやった現場を知っておられる教育委員の方がおられると思うので少し共感していただけるのでは思っているんですけれども、文科省の中から30人以上のクラスは落ち着かないという声も実際聞きます、他県では20人以下の学級を実践しているようなところもあるそうです。中野市でもすでに考えてくださっていると思うのですが、少し市民の思いを聞いてくださって今日の方針をそのままではなくてを自分達はこうやっていくんですよと全国の見本になっていけるような市であってほしいと願っています。私の一個人の意見ではありますが、今現在子育て真っ最中の母親の立場から今日来られなかったもっと小さい子ども達のお母さん達の代表としての意見でもあります。どうか一人ひとりの子ども達に目が届き少人数の学級も考えていただきたいというのが私の願いです。

回答

- 私共、教育委員会といたしましても答申でも20から30人が望ましいということで当初その実現に向けて真剣に協議したり色々調べてみたりしたのですが、実際のところ市の財政の問題というより中野市内のすべての学校を20人から25人で割った場合、何十人という教員を中野市独自で担任を探さなければいけないということで、現時点では非常に難しいという結論になりました。先生方にしても25人ぐらいが望ましいということで、その事についても今後検討していかなければならないのではないかなという考えですが、現時点では難しいという事だけ御理解いただきたいと思います。

意見

- 高丘小でも3つの学年が30人より多い学年がありまして、うちの子も6年生で35人で、やっぱり大変なんだなということで、先生や教頭先生からも保護者を集めての会議は30人より多いクラスというのは大変だと聞いています。そう思うと現場の声としては、さっきの答申書でも20から25人という声があり、どこに訴えていったらいいのか、言える場所があれば教えていただきたい。現場の声を大事にするのか、県の基準でない場合、何十人も先生を集めるのは難しいとは思いますが議論されてその結果だということを今聞いた、努力しないで決めたわけじゃなくて時間をかけて検討した結果だということを今聞いてそうなんだなと思いました。それでもあえてもし先生を集めることをできれば、中野市に人が集まる子育てしやすいそういう街という方向にもできないかなと思うんですね、そんなところでお願ひたいになってしまいましたが、県の方にそれを訴える事ができるのか、ちょっとお聞かせいただければと思います。

回答

- まず、一点目でございますが、今言った20から25人、現場の先生方の声もやはり30人を超えると多いとか意見が出ております。文科省の基準は40人で、長野県はさらに5人を少なくして、何年か前に協議してそういうふうにしたと。長野県の方でも教育再編ということで色々な委員会等ございましてその中で25人がいいとか何人がいいという意見が出ておりますので、検討はしているかと思いますが、声とすれば市はなかなか市の教育委員会の立場ですので会議とかで発言はできますが、ただどの程度、県の教育委員会でそのような声を捉えて25人がいいのか20人がいいのかどうするのか、全国的に少子化になっておりますのでその辺は検討しているという話は聞いています。直接どこへ言えばいいのかというのは、今言えるのは県の教育委員会なり県議会なりかと思うのですが、うちの方としましてもそのような意見があるということは何かの会議でお話ししたいと思います。

意見

- 県の方で下げないと決まっていることではありますが、是非検討を続けていただければと思います。現場の声、親の声としては20人、25人ぐらいの方がよいです。ちょうど上の子どもが二人いて、小学校は上がって出ているんですが、二クラスで19人だったんですね、

二番目も22人で良かったなって、単純に比較はできないと思うんですけども是非よろしく
お願いいたします。

意見

○ 先日学校でイベントがあり参加をする機会がありまして、6年生になると授業中に立ちあ
がってうろうろする子がほとんどいなくなるなということによってようやく担任の先生が腕をふる
う時間が長くなってきたなという感覚がございました。それまではクラスを運営することに
だいたい時間を割いていたのだと思います。私はこういった説明会は初めてでございまして、
中々機会がなかったのですが、資料等拝見しておりますと皆さんが基準に合わせるために非
常にご苦労されておられて、そのための方針を一生懸命されているという感じは伝わって
くるのですが、地域の特性といったところで基準というのは長野県は長野県でも、もっと山深
いところもありましょし、都会的なところもあるでしょうからなかなか難しかろうなとい
う印象でございます。先日ニュースで都市部の小学生がボールを投げられないということが
出ておりまして非常に驚きました。外で遊んでは駄目、遊ぶ機会が少なかったり公園でもボ
ール投げ禁止だそうです。他の人に迷惑がかかるという倫理、行動を守らせるためというこ
とが前提のようなんですけど、運動能力が劣ってきているというようなところ、その対策が急
務だというようなニュースがございまして、例えばこの地域の子も達は走り回って遊んで
います、テレビゲームを楽しんで目が悪くなってしまおうという現代っ子の側面もあるん
ですけど、これも地域の特性だと思う。私は県外出身のIターンでございまして高丘地区に越
してくることに決めるのに高速道路のインター、JRが通っている、小学校があるというこ
ろが大きな決め手でございました。私が卒業した小中学校はどうだったかという点にあり
ません。ですから小学校のクラス会をどこでやったらいいのか、中学校のクラス会をどこ
でやったらいいのか、土地はあるんですが公共の施設が建ってしまった。私はこちらの卒業
生ではないですけど、地元の皆さんの不安というのは喪失感が目の前にあるのではないかと
思うんですね。地域を盛り上げていくことが何なのかということを考えるということが前提
なのではないでしょうかと思っている次第です。行政のやりように合わせてしまうのでは
なくて、私達地元のひとりひとりが子ども達が不安にならないように将来引っ越して
いただける方々が不安にならないように子育てと地域づくりをしていきたいと思
いますので、申し送りがあるとなればその部分もお願いいただければと思います。

回答

○ 今の件につきまして意見として申し送りしておきます。

意見

○ 私も10年ほど前に縁があって引っ越してきました。初めて子どもが小学生に入った時
ほとんどの学年が一クラスしかないということにびっくりしてこの環境で6年間や
っていくのが最初はすごく不安でした。実際に学校に行き始めると集団で行動する
んですけど上級生下級生の中に入れてもらって学年の枠を超えてすぐに楽しそうに
始めて、学校の授業でも地

区の散歩散策をするという授業がありまして、高丘地区のいいところ歴史などを発見して話し合ったり、地域の特徴を勉強しているんです。地区の方から田んぼをお借りしてお米を作って食べるという体験もさせてもらっています。高丘小学校に通うことで子ども達がたくましくなりました。考える力もとても付いてきたなと思って方針案のなかにある部分が高丘小学校に通うことで獲得できてきているんじゃないかなと思うんですけど、集団生活の中で自ら学び考える力をつける、家庭や地域で連携して活かす教育を推進となっていますが、もしこれで学校が統合されていくということになると、今の出来上がってきたものが無くなってしまうのかなと思うと心配になります。意見としたら児童数だけ減ってきたので適正規模に合わせていくという考え方ではなくて、保護者の意見を聞いていただきながら進んでいきたいなと思います。先生の事とかいろいろ大変だなって分かったんですけど、子どもにかけるお金は使っていけるように考えていっていただきたいです。

回答

- 私共も保護者の意見をよく聞いていきたいと思います。今、教育委員会のほうで信州型コミュニティスクールというのを立ち上げようとしていまして、それにつきましては子ども達に地域の皆さんが寄り添っていただく、あるいは先程どこで声を上げるという話がありましたが、信州型コミュニティスクールに学校運営委員さんというのがいまして、そこで学校に対する意見とか要望とか評価とかありますので、統合問題も一緒に考えていながら、そういったところの意見も参考にしたいと思っています。

意見

- 今回修正案ということで前回の市民説明会の資料と見比べてみたのですが、基本的には適正規模という基準に変更はないのでしょうか。修正案を基にした市民説明会なのですが、人数や基本方針に修正はないのですか。

回答

- 変更はございません。

意見

- 市の基準方針を変えるのが難しいとなると、高丘小学校があるこの地域の条件からすればゆくゆく統合ということになりましたけれども、反対という立場を取らざるを得ない。現場でも30人を超える生徒をまとめるのは難しい大変だという先生の声もあるということで国が35人、県が30人あとひと声市はというところで20から25人というのが財政面でも難しいということですが、子どもが少なくなってくると30人で構成するのは難しくなってくる中で統合して数合わせをするのか、20から25人のクラスを作ってその中で子ども達の環境を作ってあげるのかというのであれば、20から25人の方が先生達の負担は今より大変じゃなくなるのかなと想像してしまったのですが、一回統合してしまうと30人という

基準を変更するのが難しいので、皆さんで話し合われた20から25人がいいという声があったということ、市民としても賛成するという立場もあるということをお願いしたいです。

回答

- その声をしっかり受け止めて今後は情勢も変わってくる可能性もございますので、今の時点では30人規模とありますが変わる可能性もありますし、今後20から25人で対応できるかもしれませんので、私共も地域の声、保護者の声を大事にしていきたいと考えております。

意見

- 統合の計画にあたる子どもを持つ親というのは、保育園に行っている子ども達が統合の計画に入ってくると思うのですが、保育園でも教育委員会さんの考えを早めにゆくゆくの事として知らせてほしい。子ども部などと連携の中で管轄が違うから配り物は駄目だとか、外でなら配っていいとかありますが、もう少し連携をとっていただければ、高丘地区の保育園と小学校へもアンケート等の配布等や柔軟に意見の吸い上げもでき、これからの世代達へもして知らせてほしい。議事録で豊田地域にアンケートをとりたいといった考えがあった、保育園の方で配り物をしたいPTAの親御さん方がアンケートをしたいというお願いを保育園の方にしたら園長先生をとおして子ども部としてはそういったものはできないと言われたようで、出来ないなら出来ないんでしょうけど、当事者意識が薄い中だったら注意喚起といえますか、地域全体の今後の将来の話でもありますので、説明会をやるというお知らせなり修正案なり保育園でも周知できればなど。

回答

- 統合のアンケートに限らず、特に保育園については、業者さんとか一民間企業とかが配ってほしいと配り物が相当来るもので、子ども部の保育課のほうでは保育園の敷地内では一個人的なアンケートのようなものについてはお配りしませんよと、ただ外で配るのはいいですよと、という話になっています。それは今回に限らず全て統一してございます。豊田地域は外で配る事例と、あとは区長さんを通してアンケートを行う様です。保育園は直接当事者で今後変わってくるという話なんですけど、説明会の会議録、あるいは修正案、今までの基本方針案など、ホームページ、広報なかのや各地区の研修センターや公会堂の方にもお送りして見ていただくとか、できる範囲で周知しています。今後資料を一式配ってほしいという意見もございますが、全部に配りますと多大な数になりますので、今言った媒体等を通してなるべく基本方針を知ってもらって、関心を持っていただければなどと考えておりますのでご理解をお願いします。

意見

- 県の基準が30人、これにこだわる事ではないんですけど、説明の中ではそれを下回る形ですと市の方で考えなければならぬという話ですが、北部の方は少なくなっていて地区の

意見も統合をやってもらいたい、こういう意見は尊重して進めていってもらえるのは結構だと思うんですが、高丘地区にとって見た場合は、深刻な状態ではなく様子を見るという回答ですが、もしそういうふうになった時に私は地区の意見というのが大事になると思います。30人学級を切っていて20何人になった場合どうしようとなった時に、地区の要望が存続してもらいたいという要望が強かった場合は尊重していただきたいと思う。最終的にどうするかとなった場合、県の方ではあれだから市でということでお金の問題になるということなんですが、教育の問題というのはお金だけでは解決できないということを強く思っている、特に中野市も財政的には余裕がある状態じゃないと思いますが、地域の要望が強かった場合は苦しい財政のなかでも市の負担を教育の方へをやってほしい、教育に対する気持ちというのは大事だと思う。教育委員会さんに言ってもどうなるということではないが、行政に絡んでくる話ですが、そうなった時に地域の要望がこれだけあるんだからという形で教育委員会さんと市の方が一緒になって財政の面を考えていただければ、他の方を削って教育にお金をかけても、市民には理解していただけたらと思います。明日明後日の話ではないが、基本的な考えは地域住民の要望を数字にこだわらず汲み取っていただいて、財政的なことも含めて中野市は教育にお金をかけるんだという市民から理解が得られるような前向きな方向で進めていただきたい。

回答

- 地域の声、保護者の声は大事にしていきたいと思いますが、今の一点、お金もかかるんですが、それ以前に高丘だけではなくて、中野市全部が例えば20人25人のクラスをやらなければいけないので、教員配置、教員を探す、その辺が非常に複雑になってきます。お金は払えば済むことですが、やはり配置とか一つの小学校だけ20人、25人とはいかないもので、今、15小中学校ありますが、すべてに影響してくるという事なので、その辺は100%やらないということではないですが、お金だけではないということもご理解いただきたいと思います。

意見

- 3ページの2 適正規模及び適正配置の推進の方策のところの通学区域見直しについては現実的ではないと考えが書いてあるのですが、6月3日の北信ローカルの記事には、日野地区での適正規模の記事が書いてありまして市の教育委員さんでは単純に日野小と延徳小ではなくして通学区の見直しを視野に入れている、そこからスタートしても何年か議論が必要になると説明というふうに書かれているのですが、これを見ると通学路区域の見直しも視野に入れていると受け取ったんですけど、説明と矛盾しているような印象があるのですがどうなのですか。

回答

- 現時点では通学区域の見直しは現実的ではない、考えていないということで今回の基本方針案につきましては今の枠組みで行いたいと考えています。ただ今後、例えば日野小もそう

ですし高丘小もそうですが、更に人数が減った時には通学区域の見直しも含めたなかで考えざるをえないかなということで、そういう発言を日野小ではしたということです。将来ひと桁になって高丘小も学校運営が難しくなってきた時には通学区域の見直し、区の見直しそれも視野に入れながら検討していきたいということでの発言でございます。

意見

- 感謝の気持ちを言いたいと思うのですが、2月か3月に高丘地区の保護者の有志で土日の説明会を行うように要望を提出したんですけど、この件について今までは平日の夜という開催で今回は土日に昼間という時間帯に説明会を開いていただいて私も参加しやすく、説明会に足を運ぶことができましたので有難いなと思います。教育委員会の皆様に感謝の気持ちを伝えたいと思うんですけど、私達の要望に真摯に答えていただける教育委員会の皆さんなので一つ要望なのですが、30人規模学級について中野市独自では先生の配置人数の関係で難しいということでしたけれども、鳥取県では少人数学級を推奨していて小学校一二年生においては30人以下中学校一年生においては33人以下の学級編成の標準と定めていて少人数学級を実施されているそうです。教員保護者ともに少人数学級の取り組みに対し好意的とホームページを覗くとそのように書いてありました。中野市独自で教員を配置するのは難しいかもしれませんが教育委員の皆様は県の方に働きかけていただいてこのような意見があるということをお願いいただき、県の30人規模学級というものの見直しについての要望を働きかけていただければと思います。

回答

- 何かの折にはこういった意見があるということをお伝えしたいと思います。

意見

- 確認ですが、見直し案の考え方について、日野小がひと桁の学年が複数となるのが見込まれる状況になった時、改めて検討するとあるが、ということは高丘小学校もひと桁の学年が複数となった時という捉え方をすればいいのか。高丘のところだけ細かく学校運営で制約を受けるときと難しく書いてありますが。

回答

- 先程、どなたかから出ていますが、そういう声が上がってきた時とか、そういう時に検討するという事です。実は日野小につきましては、現在ひと桁のギリギリといますか10人から12人ぐらいを推移しています。高丘地区、平野地区の中野平中学校区よりも南宮中学校区の日野小、延徳小については賛否両論ありまして、統合して欲しいという意見も結構あるのは実情です。やはりひと桁になるとかなり学校運営が制約される部分がございますので、高丘小については今の時点でいきますと恐らく30年、40年かはそうならないと思いますが、ただ、今でももちろん統合に反対という人もいれば、学年複数あった方が良いという意見も高丘小の中にごございますので、その辺は地域の声とか保護者の声をどういった声か

一番多いのか、どういった声が子ども達にとって教育環境に良いのか考えたいということで、あえて若干の枠組みが違う形で捉えさせていただきました。

意見

- これは要望です。ここは中野市の玄関口です。インターも近いしJRもあるし、住居としてはものすごく生活しやすい場所です。そのために多くの人達がこの場所に移転をして住宅が建ってそのことを視野に入れながらこの地域に学校、保育園があるという形が中野市の玄関口にならなくていいので、高丘小学校は存続させてほしい。じゃあ30人25人揃うって形にするとそれに合わせるような形に通学路の編成を含めながら高丘小をもっていく。学校教育で具合いいのは1クラス25人で、一学年50人ぐらいで小学校六学年で300人前後が一番いいんですよ。ただ、平野が多すぎる。高丘があと100人ぐらい平野から調整してもらいたい。お互いの保護者が、学校の先生が、子ども達ひとりひとりに目が行き届くようにしている高丘の子ども達ですから、そんな形を見続けながら、そこらを見直してほしいなと思います。

意見

- 新聞報道で言う先送りというような陳情をさせていただいたなかで御礼と感想をしゃべらせてもらいます。

基本方針案が出る前に審議会をやらせて、答申が出て、教育委員会が方針を建てたという順序立てになっていますが、その中で審議会の答申を逐一全発言をネットで発信されて、私は学校の先生方が大変苦勞をされているんだという実態が分かりまして良かったと思っております。各会場で逐一報告されてひとつ考えたことは、学校というのは行政ばかりではなくて学校、保護者、地域と三者一体でやっていかなければならないのですが、今日の修正案についても教育委員会でこういう場を設けてもらったのは、教育委員会でどういう議論があったのかということをご間考えていました。教育委員会の定例会の報告もネットであるのですが、項目だけでどういう内容で議論されたのか分からないので、色々大変でしょうけど開かれた発信の仕方、特に教育委員会でどういう議論があるのか知りたかったです。

- 私は民生委員もやっている立場で学校と一回懇談会があるわけですが、この結果を持って陳情したわけですが、これからの方が地域として大変だなと、地域の力が試されているんだなということを感じました。学校側へは我々何ができるのか分からないですが、学校側も努力されているわけですが地域としてもこういうことをやってももらえないかとか、そういうものを積極的に発信してくれないかというような要望をしておきました。高丘というのは皆さん地域あつての学校、学校あつての地域ということで単純に平たく言えば残して欲しいということだったと思います。市議員さんにもお話していかなければいけないことだと思います。西部地区方面は飯山線が通っており、これをもっと積極的に利用促進していく方策を行政として考えてもらいたい。某県議に二、三度飯山線でお会いしていますが、おそらく普段の県議会というのは自動車通勤されていると思うのですが、駐車場の問題なあるのではと推測します。秋口になりますとグリーンツーリズムという事業で、観光会社と提携して、2

ヶ月位紅葉の時期ですけど、バス2台ぐらい連れて来て、メインは野尻湖高山の紅葉を見るようですが、時間つぶしに飯山に行って、降ろして立ヶ花で乗せるというようなことを2年ぐらい続いています。私は立ヶ花ですのでトイレの件で区長会レベルでも陳情しているのですが、新幹線を開通するにあたって簡単に言うとみぐさいものは廃棄しろということでトイレが潰されてしまったんです。これも議会でも簡単にそっけない話をいただいているのですが、もっと飯山線を活用した振興策というものを、教育会議という場もあろうかと思いませんので、高丘の説明会でこういうことも言われてきたというような形でもいいですから、頭に留めていただいて高丘小学校をさらに発展していくようにご尽力をお願いしたいと思います。

回答

- 教育委員会の中でどのような議論をしているのかなかなか情報発信がないという話ですが、他からもそのような話が出ておりました。定例教育委員会の後に協議会という中で話し合ってるわけですが、情報発信を検討してできるだけ市民の皆さんの要望に答えたいと思っております。飯山線の活用ということでございますが大切なことだと感じております。市長へも飯山線の活用を提言していこうと思っておりますのでよろしく申し上げます。

意見

- 私は中野市に越してきたという立場です。中野市の中でどこに住もうかなと考えた時に高丘が一番いいだろうと選んでここに住んでいます。そのようなところで先程もお話をされていましたが、小学校がないとここに住まなかったという感じもあるので、ぜひ残していただきたい。
- 中野市の人口を増やしたいとお考えだと思うのですが、教育の面で言えるのがもし25人にしてもお金の面であれば何とかなるが、すぐにやるとなると市内全部の学校が対象ということで難しいというお話もありましたから、それはそうだろうと思いますので、25人を目指しているといった形で方向性を示すだけでも中野市は少人数で適正規模でやりたいという意思があるんだと発信するだけでも中野市に住もうと考える方も多くなると思いますので、すぐには無理だというのは分かりますので、方針なり段階的に進めていくんだというようなことを発信していただくと、集まってくる形になるのかなと思います。

回答

- ご意見としてお伺いしておきます。

意見

- 学級単位30人規模云々のところで色々意見が出てきまして、国の方針、県の方針があるということで現時点のお話で30人というのは十分理解しました。数字遊びではないんです

が、こちら側の「まち・ひと・しごと」総合戦略ということで出していただいた中野市の指針を見ますと、昨年度平成27年度4万4千人の人口で平成37年度が4万1千人～4万人ぐらい、施策を行うと4万千人維持できるのではないかと計画をされていて、10年で4千人の人口減を見込んでいるようです。10年で人がいないような状態が前提だというふうに行政の立場で見られているところを含めると、今の30人規模の話というのは現時点では分かるんですけど10年後何人規模が適正かとなった時に普通に行けば30人から10%引いた27人26人という規模そこが判断基準になってくるのではないかと思いますので、30人というところをあまり固執されないようにお願いしたい。

- 教員の人数ということで、お金はともかく人を割り当てるのが厳しいという話になったと思うのですが、人が減ってきて他の地区も子ども達の数が減ってくると教員の方が余ってくるはずですよ。その方を回せばいい話じゃないかと私は単純に思っています。こちら辺のところは教育委員会とかそういう立場の教育課の立場とはかけ離れちゃうかもしれないんですけど、数字遊びだけすると、そういうこともできると思いますので人数のところで固執していただきたくないなと思います。
- 今まで意見が出たと思いますが、この地区の人は高丘という場所に誇りを持って住んでいる人間が多く、子ども達の数とかそんなことではないんですね、ずっとここを発展させたいという思いが強いものですから高丘の地区に関しては特別な配慮をしていただくようなことをお願いしたいですし、私共は地区から選出している議員さん県議さんを通じてこちらの地区がこれからますます盛んになっていくような方針をそれぞれの立場でお願いしていくような形でいますのでこちらに参加した皆さんの総意というのは決してベクトルが違っているのではないということだけをご理解いただければと思っています

5 閉会 (11:30)